

人文書 ご担当者様
心理学書 ご担当者様

北大路書房 ニュース

朝日新聞ほか書評掲載多数！



2020-06-30 朝日新聞 夕刊
大阪本社版 いまどきマンガ塾
評者: 雑賀忠宏 氏
(京都精華大学国際マンガ研究センター 研究員)

「視覚表現の多様性 探求 連なる図像 どう物語として認知されるか」……言語の連なりがメッセージとして意味を持つように、私たちは図像の連なりを、いかにしてひとつの「物語（ナラティブ）」として認知し、理解しているのだろうか。そのような根源的な問いについて、本書はマンガあるいはコミックス的な表現を事例にしながら探求していく

2020-07-18 陸奥新報
2020-07-19 山口新聞
2020-07-30 島根日日新聞
2020-08-16 京都新聞
評者: 吉村和真 氏
(京都精華大学マンガ学部教授)

「知見を集約した文明論」
良い意味でタイトルに裏切られた。本書は単なるマンガ論ではない。認知科学と言語学を駆使した「ビジュアル言語論」であり、「21世紀の文明論」でもある……マンガ研究者をはじめ、言語学者や心理学者など、幅広い専門家に開かれた対話を求める重厚な手紙なのだ……



※時事通信社配信記事

2020-06-29 じんぶん堂 (朝日新聞 好書好日)
評者: 野間健司 氏 (紀伊國屋書店 書籍・データベース営業部)
「読む／視るとき何が起きる？ 紙／電子を越えるリテラシーのために紀伊國屋書店員さんおすすめの本」にて「ビジュアル・リテラシー」の必読書として掲載

2020-08-07 週刊読書人 2020年8月7日号 (3351号) <6面>
評者: 池上 賢 氏 (拓殖大学政経学部准教授・社会学・メディア論)

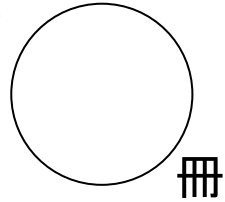


夏目房之介氏 推薦！

マンガの認知科学
ビジュアル言語で読み解くその世界
ニール・コーン 著, 中澤潤 訳

978-4-7628-3108-9 / A5・288頁・4800円+税

私たちはマンガのストーリーをどうやって理解しているのか？ 絵は言語としてどのように働くのか？ マンガを形づくる「ビジュアル言語」の理論を、米国の認知科学者兼コミック作家の著者が提唱。言語学、認知心理学、認知神経科学、比較文化学による検証を通じ、マンガ読解の仕組みのカギとなるビジュアル言語の構造を探る。



ご注文は → FAX 075-431-9393

貴店番線印

ご担当者様名

返品条件付。
返品了解者名 大出(おおで)

㈱ 北大路書房
〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8
TEL : 075-431-0361 FAX : 075-431-9393
e-mail: eigyo@kitaohji.com
http://www.kitaohji.com

* 店舗名の間違ひ、FAXがご不要な場合はお知らせ下さい。また、FAXの誤着がございましたら、お手数をお掛けしますがお知らせ下さい。